



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第9巻第
3号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第9巻第3号). 泌尿器科紀要 1963, 9(3): 172-172

ISSUE DATE:

1963-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/112411>

RIGHT:

編 集 後 記

以前カラ 本欄 或イハ各種ノ医学雑誌ニテ 私ハ医界ノ諸問題ニ就テ色々ノ理屈ヲ並ベテ来タガ 私ノ如キ者ガ雑誌ノ片隅デ不平ヤ意見ヲ述ベテミタコロデ大シタ反応モ効果モナイデアロウ事ハ自覚シテ居ルガ 物云ワヌハ腹膨ルルワザデ 黙ツテ居レナイ性分デアル。然シ全ク効果ガナイトモ云エナイ点モアル。時勢ノ為メカモ知レヌガ。

私ハ 昭和32年8月3日ノ日本医事新報ニ 大学病院ガ一般保険医療機関ニ組入レラレタ事ニ就テ ソノ不合理ヲ強調シ 又 同誌ノ昭和32年10月5日号ニ 健保ト大学病院ノ診療トノ関係ニ就テ 大学教授ガ甚ダ無関心デアル事ヲ指摘シ ソノ関心ヲ呼び覚マソウトシタ

福井赤十字病院機関誌ノ昭和34年1月号ニ 私ハ 日本ノ医療制度ガ極メテ乱雑デアル事 例エバ性格ノ異ツタ医療機関ガ甚ダ多数ニ存在シテオリ 保険診療トノ関係モ雑デアル事ヲ述ベコレハ統一セラレルベキデアルト云ツタ 又 勤務医ノ待遇改善ヲ要望シタ コノ事ハ ソノ後モ機会アル毎ニ訴エテイル。又 皮科ト泌尿器科トノ分離ヲ主張シ 更ニ同誌ノ昭和35年1月号ニテハ文部省科学研究費ガ僅カデアル事 厚生省ノ役人ガ医者ヲ牛耳ロウトシテハナラヌ事等ヲ述ベタ。新潟県医師会報百号記念号(昭和33年)ニ医学ト保険診療トノ関係ニ就テ記シ 両者ハ勿論同一ノモノデハナイカラ ソノ間ニ溝ガアルノハ当然デアルガ 然シ密接ナ関係ガアルカラ 何トカシテ ソノ溝ヲ埋メルヨウニセネバナラヌ事 ソレニハ医学ニタズサワル者ガ協力シテ 医療制度ノ根本的ナ改革ヲ必要トスルデアロウト述ベタ。又 文部省ニ医務課モ病院課モナイノハ不都合デアルト云ツタ。

ソノ後モ主ニ日本医事新報 医学通信 本欄等ニ於テ「医界雑感」のナ意見ヲ書き綴ツテ来タガ ソレヲ主張ノ内容ガ 少シジツデハアルガ 実現ノ方向ニ進ンデイルヨウニ思ワレル。コレハ私ノ発言ガ効果ヲ挙ゲタト自賛スルツモリハナイガ 全ク無意味デアツタトモ云エナイデアロウ 若シ多クノ人達ガ根気ヨク ソノ主張ヲ発表スルナラバ 効能ハ確カニ挙ガル事ト思ワレル。沈黙ハ金 ト云ウコトワザハ 或ル時代ノ或ル条件下ニ於ケル ズルサヲ含ンデイルヨウダ。トニ角 医界ノ諸問題ヲ ザツクバラシテ論ズベキダ(昭和38年3月)。

購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間予約購読料金 1,200 円を前納する。1冊料金 120 円。払込みは振替口座番号 京都4772番、泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法等を御記入の上編集部宛。

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用い、附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 527, 1941.
5. 300 語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁 600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集部が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。